

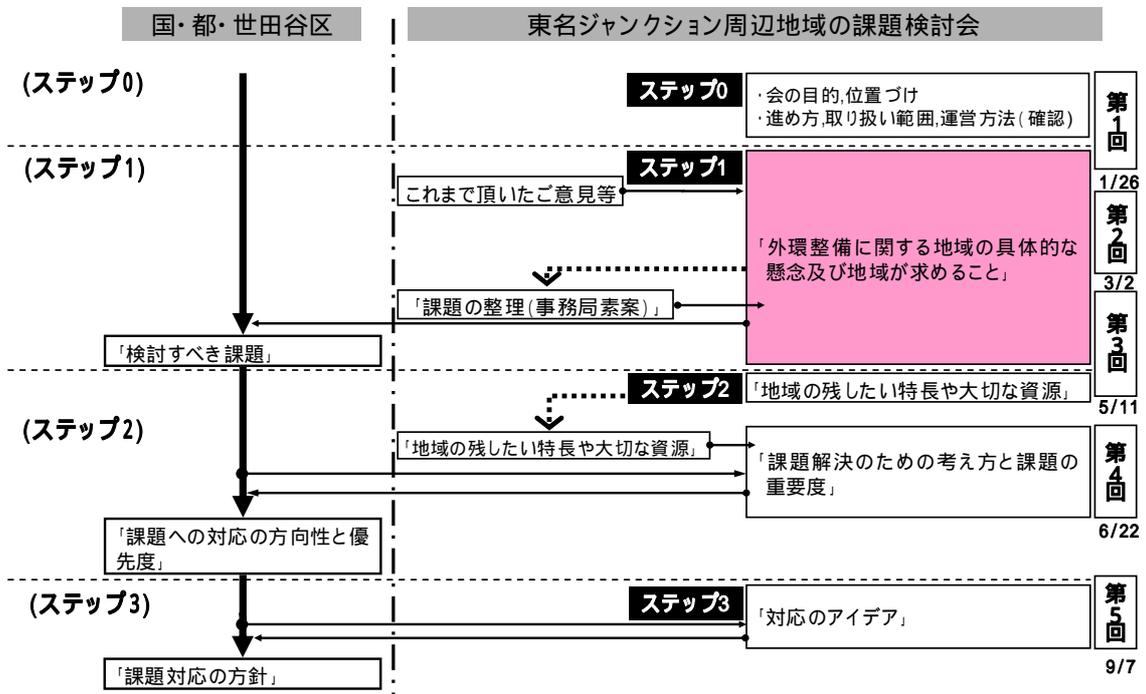
1. 東名ジャンクション周辺地域課題検討会

- ・ 地域課題検討会におけるとりまとめ資料

ステップ 1-1

外環整備に関する地域の具体的な懸念及び地域が求めること

- ・ 外環計画が具体化した際、地域にとっての懸念や期待を住民の視点でまとめたものです。



東名ジャンクション周辺地域の課題検討会 外環整備に関する地域の具体的な懸念 及び地域が求めること

【本資料について】

- ・本資料は、東名ジャンクション周辺地域の課題検討会において、ステップ1（第1回～第3回）でのメンバーの議論の成果となります。
- ・地域課題検討会では、第1回～第3回にわたり、グループ毎に、外環計画が具体化するとしたら地域にとってどのような問題が懸念されるか、地域が求めることは何かについて、現地見学会を通じて現地を確認しイメージを共有した上で話し合ってきました。

東名ジャンクション周辺地域の課題検討会 メンバー

Aグループ [1/3] 場所を特定できる意見(外環本線)

■換気所

- ・外環が整備された際のぜん息への影響の程度が不安。
- ・換気所から排出される大気を懸念している。
- ・換気所は、道路の地下部分のどの範囲の排気ガスを集めて排出するのか。長い区間に排出された排気ガスがこの地域に排出され影響を受けることへ懸念がある。換気所の設置箇所を多くして痛み分けできないのか。

生活

■ジャンクション西側 (喜多見3丁目高架下)

- ・喜多見3丁目の高架下を、駐車場や仮設小屋などで有効に活用してほしい。

生活

■ジャンクション西側 (多摩堤通りとの交差点)

- ・外環整備による公園面積の減少を懸念している。
- ・事業対象地内の住宅が移転する際の大木の移植工事費について補償してくれるのか懸念がある。

まち

用保

■地上部出入口周辺

- ・野川の魚の生存や生態系の変化、遊歩道の景観悪化を懸念している。

自然

■安全

- ・災害時の外環からの緊急用車両の出入りによる影響を懸念している。
- ・ジャンクション周辺の道路は貧弱なので、工事車両通過によるジャンクション周辺地域への道路混雑や日常生活への影響を懸念している。
- ・工事期間中の騒音を懸念している。

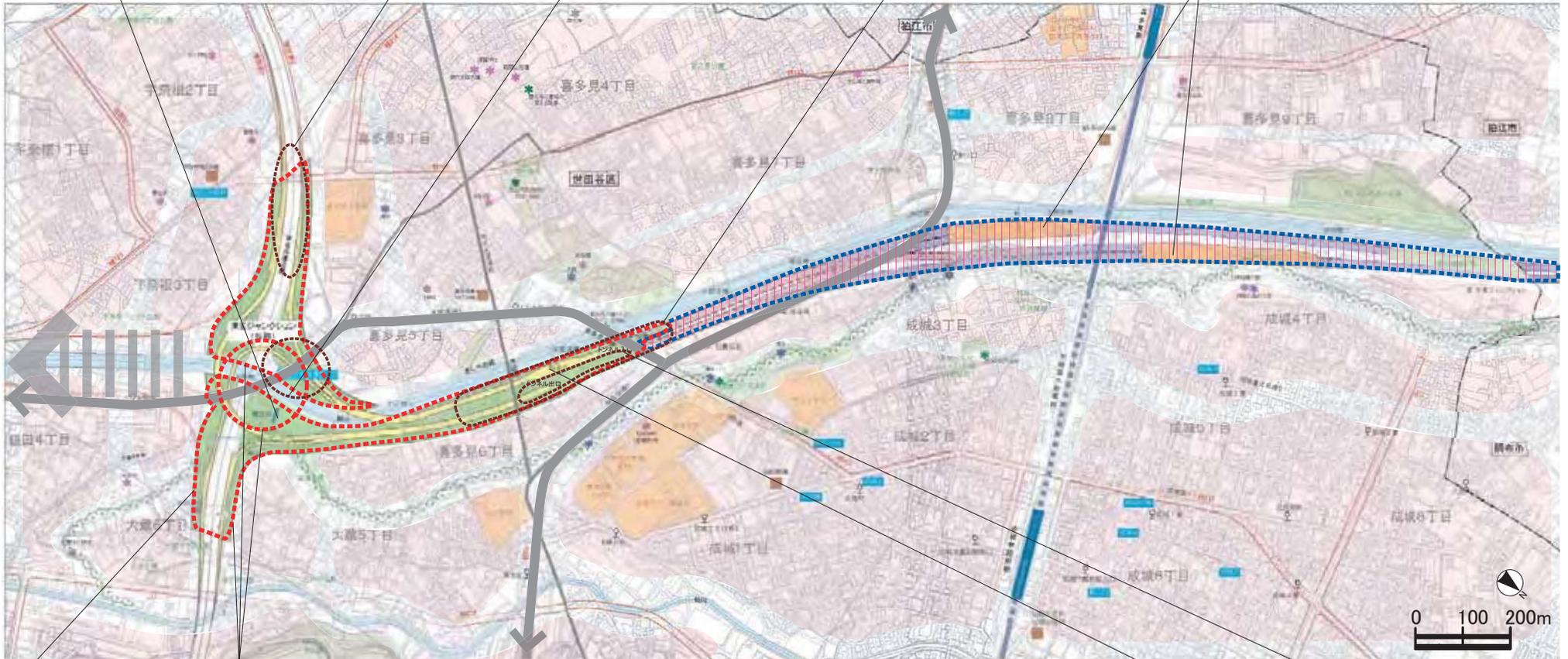
安全

工事

■トンネル合流部

- ・自宅の下が成城4丁目のトンネル分合流部にあたるためどのような影響を受けるのか心配だ。深さがどの程度になるのかを知りたい。

生活



■ジャンクション東側(大蔵6丁目側)

- ・現在利用している環境施設帯予定区域内の道路がどのようになるのかが分からず、利便性が損なわれるのではないかと心配している。
- ・ジャンクションに接する地域の騒音による影響を懸念している。
- ・環境施設帯の予定区域内にある大六天神社がなくなることが心配。環境施設帯の幅を狭くするなどの工夫で対応できるとよい。

生活

■ジャンクション

- ・地上部道路は、災害時の避難ができるようにしたいが、低周波音や排気ガス対策のための天蓋を地上部道路に設置すると、災害時の避難場所がないことへの懸念がある。

安全

- ・ジャンクション整備による環境悪化を懸念している。
- ・低周波音や排気ガス対策のための天蓋を地上部道路に設置したい。
- ・地上部道路の排気ガスへの対策に懸念があるため、地上部道路全体に天蓋をつけて(ドーム化)排気することを望む。
- ・急勾配のジャンクションの道路を通過する自動車排気ガスの発生を懸念している。
- ・ジャンクション地上部道路からの排気ガス対策に懸念がある。
- ・低周波音の影響を懸念しているため、透明な防音壁の

- 設置により影響が低減することを望む。
- ・排気ガスや騒音などの環境への影響、動線やコミュニティが分断されることなどの影響が心配なため、ジャンクションを完全地下化してほしい。外環を完全地下化と言うのであればジャンクション部の地下化も検討が必要だ。地上部であることへ懸念がある。
- ・東名以南ができれば条件が違うので、ジャンクション完全地下化は検討の余地があると思うが、現在の計画が絶対だという行政の対応に懸念がある。
- ・トンネルより上り坂に対して想定される音、排気、振動などは、現在の技術で解消されることを期待している。

生活

- ・東名のように野川に雨水排水が流れるのではないかと心配なため、地上部分の雨水の排水方法に懸念がある。

自然

- ・環境施設帯の空き地へ区民利用施設を設置するなど、事業により影響を受ける地域にメリットがもたらされることを期待する。
- ・周辺地域への影響に懸念があるため、必要スペースの小さいETC限定の料金所にして事業の区域を縮小することを望む。
- ・料金所における排気ガスの影響に懸念があるため、ETC限定の料金所にして環境への影響を低減することを望む。

生活

■料金所

- ・環境施設帯の大気遮断効果やグリーンベルトとしての騒音緩和の効果を懸念している。

生活

■環境施設帯(喜多見6丁目側)

Aグループ [2/3] 場所を特定できる意見(外環本線の周辺)

■宇奈根(周辺)

・外環が整備後の宇奈根2丁目付近の低周波音発生を懸念している。

■宇奈根(本線近接)

・ジャンクション周りの環境施設帯に接する生活道路の対応を懸念している。

・高架構造なので環境施設帯による影響の低減に懸念がある。
・ジャンクション整備による南側地域への騒音を懸念している。
・ジャンクション周りの環境施設帯に接する生活道路の対応を懸念している。

■喜多見小学校

・喜多見小学校への通学路の安全性悪化を懸念している。
・喜多見小学校の環境悪化を懸念している。

■3本の橋

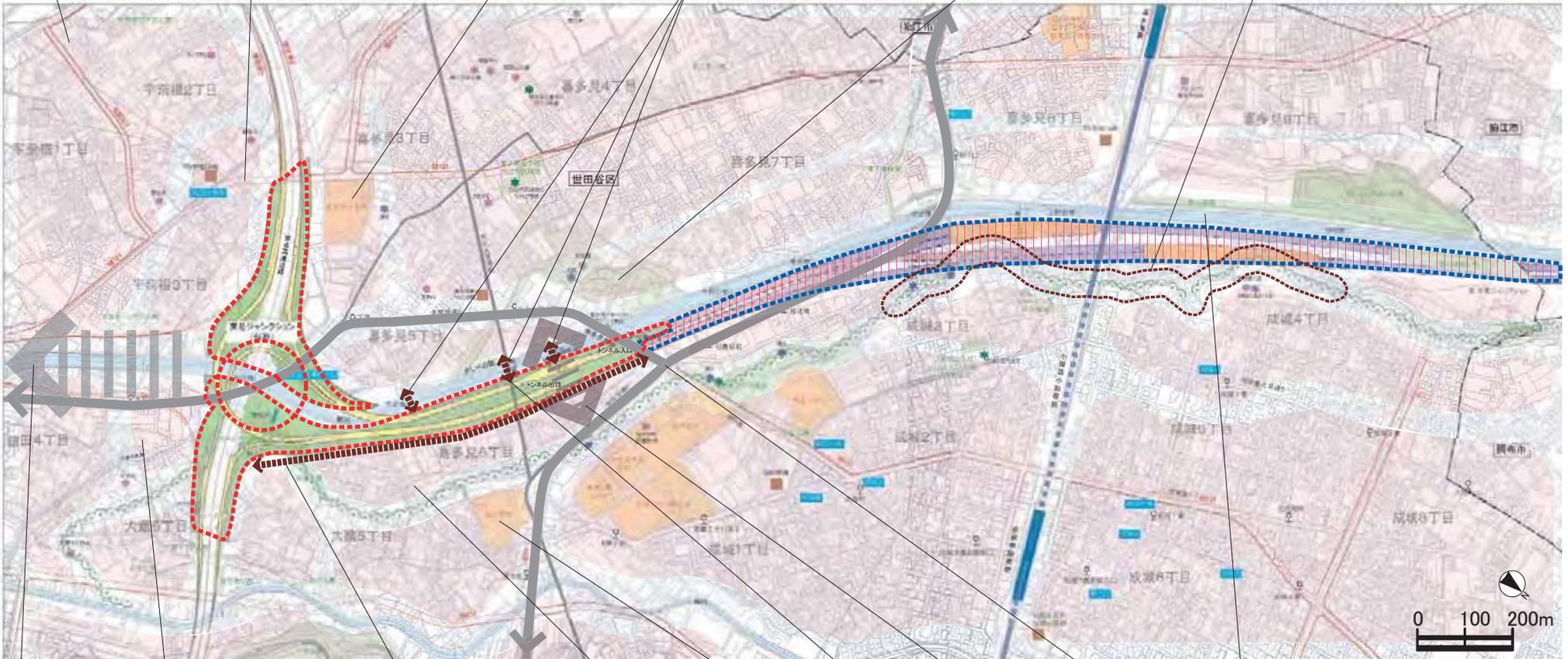
・野川の3本の橋(大正橋、茶屋道橋、水道橋)がなくなると移動が不便になることが懸念される。
・動線もコミュニティも含め地域分断される懸念があるため、大正橋、茶屋道橋、水道橋+αはなくさないことを望む。

■次大夫堀公園

・次大夫堀公園の気象や騒音への影響を懸念している。
・外環周辺の子供の遊び場が減少することに対する危惧がある。

■国分寺崖線(成城3・4丁目)

・外環からの気象による成城3・4丁目の国分寺崖線の緑への影響を懸念している。
・外環のトンネル(中深度部)の水系への影響が懸念される。



■東名以南

・インターチェンジ周辺の道路が複雑して大気が汚染されるのではないかと心配なので、東名以南の計画を早期に進めてほしい。
・東名以南のことを決めていないのに進めることへの懸念がある。

■大蔵6丁目(本線近接)

・高架構造なので環境施設帯による影響の低減に懸念がある。
・ジャンクション整備による南側地域への騒音を懸念している。
・ジャンクション周りの環境施設帯に接する生活道路の対応を懸念している。

■田直地区付近～多摩堤通り間

・災害時の避難路について懸念があるため、側道整備を望む。
・田直地区付近から多摩堤通りまでの側道がないと左岸から右岸にいく動線がなくなる懸念がある。

■ジャンクションと国分寺崖線に挟まれた地域

・田直地区は空気が淀むため、火災時の延焼を懸念している。

■砧小学校

・砧小学校生徒に対する影響を懸念している。

■水道橋

・水道橋をかけ替えた後の道路形状の変化による影響を懸念している。

■喜多見5・6丁目間

・外環による地域分断を危惧している。

■多摩堤通り

・工事期間中の多摩堤通りの渋滞の悪化を懸念している。

■野川

・動線もコミュニティも含め地域分断される懸念があるため、現状以上に左岸と右岸のつながりを望む。

Aグループ [3/3] 場所を特定できない意見

■場所を特定できない意見

・環状7号線、環状8号線の混雑改善を期待している。

交通

・国側が出している大気・騒音・振動などに対するシミュレーション値が本当に守られるのか懸念があるため、コンテインジェンシープランの作成や定期的な観測(予測を超えた際の対策(観測ポイントを含む))を望む。
 ・整備後の環境がどのように変わるのか懸念しているため、事後計測及び計測結果の報告を望む。
 ・過去の類似事例の低周波や風、排気などの影響を知りたい。
 ・低周波音の影響を懸念しているため、他の事例を調べて補償の予算や、地上部の道路に天蓋をかける予算をあらかじめ入れることを望む。
 ・電波障害の影響について心配である。
 ・大気質の悪化が子供の健康に及ぼす影響が心配。

生活

・国分寺崖線、野川は大切にしようという区や都の主張と、外環事業との整合性がとれないことで、国分寺崖線、野川が破壊されるのではないかと心配である。
 ・自然環境との調和した道路を希望している。
 ・大深度、中深度、浅深度の影響の予測値をたて、事前調査、定期的調査を行い、基準値を超えた場合に対策をとるということ今後の運営や管理のための計画に位置づけられていないことへの懸念がある。
 ・野川に関する水脈の分断が懸念される。
 ・ジャンクションが整備された時の景観のイメージがつかめないため不安である。
 ・日本橋と同じ轍を踏むことへの懸念がある。高速道路を高架にしても、のちのち、日本橋のようにかつての景観を復活させるため高速道路の地下化の話が出てくるのであれば、最初から地下化してほしい。現状の橋の景観を大事にしたい、高架にしようとしてしまうと、景観を復活させるのは大変だ。
 ・外環の工事による地盤沈下発生を懸念している。
 ・地下は河原なので地盤が弱い。ここへ高架道路を作ると地震で倒れるのではないかと心配。
 ・異常気象時の対応で外環により地域の雨水等処理系統が分断されるのではないかと心配している。

自然

・既存の道、橋がどこまで残るのか懸念があるため、現状維持以上を望む。
 ・動線もコミュニティも含め地域分断される懸念があるため、大正橋、茶屋道橋、水道橋+αはなくさないことを望む。
 ・既にあるなりわいを大切にすることに優しい地域にしたい。
 ・空気がきれいで、子どもたちが住みよい地域にしたい。
 ・東京にあっては貴重で、住む人にとって財産である水、緑、おいしい空気、歴史、文化遺産、景観が残されることが大切。

まち

・避難路のあり方に懸念があるため、アクアラインなど他事例の情報を望む。
 ・細い生活道路しかなく大型の緊急車両が入れない喜多見6丁目などのジャンクション周辺地区で、災害時対応のまちづくりがないことへの懸念があるため、外環整備と一緒にジャンクション周辺地区の災害対策を考えてほしい。
 ・高速道路と周辺道路の緊急時のつながりが考えられていないことへ懸念がある。
 ・災害に関しては、高速道路内と高速道路外の周辺地域の双方へ懸念がある。
 ・火災等の災害時への周辺地域への影響。

防災

・工事による道路混雑への影響が心配。
 ・工事の時期・規模を教えてください。
 ・工事の詳細を教えてください。
 ・工事期間を教えてください。
 ・工事事業者のモラルやルールが懸念される。

工事

■計画検討の進め方

・環境に関する予測値がまちがっていた際には正する対策がきちんとされるのか懸念がある。
 ・地域課題検討会終了後の国・都・区の役割と連絡窓口を明確にして、住民から連絡しやすくしてほしい。
 ・工事中に予期せぬ事態や環境の基準値を超えるなどの想定できない環境悪化が起きたら対応できるのか懸念がある。
 ・タイムリーで誰でも分かる情報提供がなされていないことを懸念している。

進め方

■地域課題検討会の進め方

・個々の意見への検討結果を返す、わかりやすく示すという行政対応がなされるかが心配だ。
 ・まとめの資料が前回の結果に対してモレが多すぎる。提案した意見が課題としてしかまとまっていないことが不安であるため、再度チェックの必要がある。
 ・砧公園にジャンクションを持ってはという前回の意見が抜けている。
 ・他の事例からも情報を得て検討していきたいが、国内の参考事例について情報を持っていないことへの懸念があるため、事例見学を望む。
 ・他の道路整備の事例で課題になった事項については、東名ジャンクションでも対策をとるなど、対策を万全にしてほしい。
 ・多角的な視点から検討したいが、他の外環沿線地域の区、住民との意見交換による課題の洗い出しのプロセスがないことに懸念があるため、プロセス検討を望む。
 ・地域課題検討会開催時に託児施設を確保するなど、小さな子どもを持つ世代も検討会に参加しやすくすることが必要。
 ・計画について住民が事前に3次元的にわかるような取組を望む。
 ・計画内容(高さなど)を住民にわかりやすく示してほしいが、具体的な数値で示されないことへの懸念があるため、そのような提示を望む。
 ・前回資料の送付が遅く、グループのまとめも送付されず、事前送付の意味をなしていない。1週間前に送付してほしい。事前に資料に目を通したい。
 ・東名ジャンクションの着工時期、完成時期を教えてください。
 ・外環に接する場所の道路の計画を教えてください。
 ・要望を出しても行政から回答がないことを懸念している。

進め方

■凡例



Bグループ [1/4] 場所を特定できる意見（外環本線）

■ジャンクション（環境施設帯）

・環境施設帯の緑地は、これまでのような芝生と松ではなく、地域の緑の環境がより良くなるようなものにしたい。

自然

・環境施設帯を利用して、生活道路機能が確保できるようにしてほしい。その際には、環境施設帯の効果が弱まることないように留意してほしい。

まじ

■料金所、トンネル出口

・料金所の渋滞による排ガスの影響が懸念される。この位置が複数の案を検討した上での最善の計画であるのか知りたい。また、3車線で処理が可能であるという根拠を示してほしい。

生活

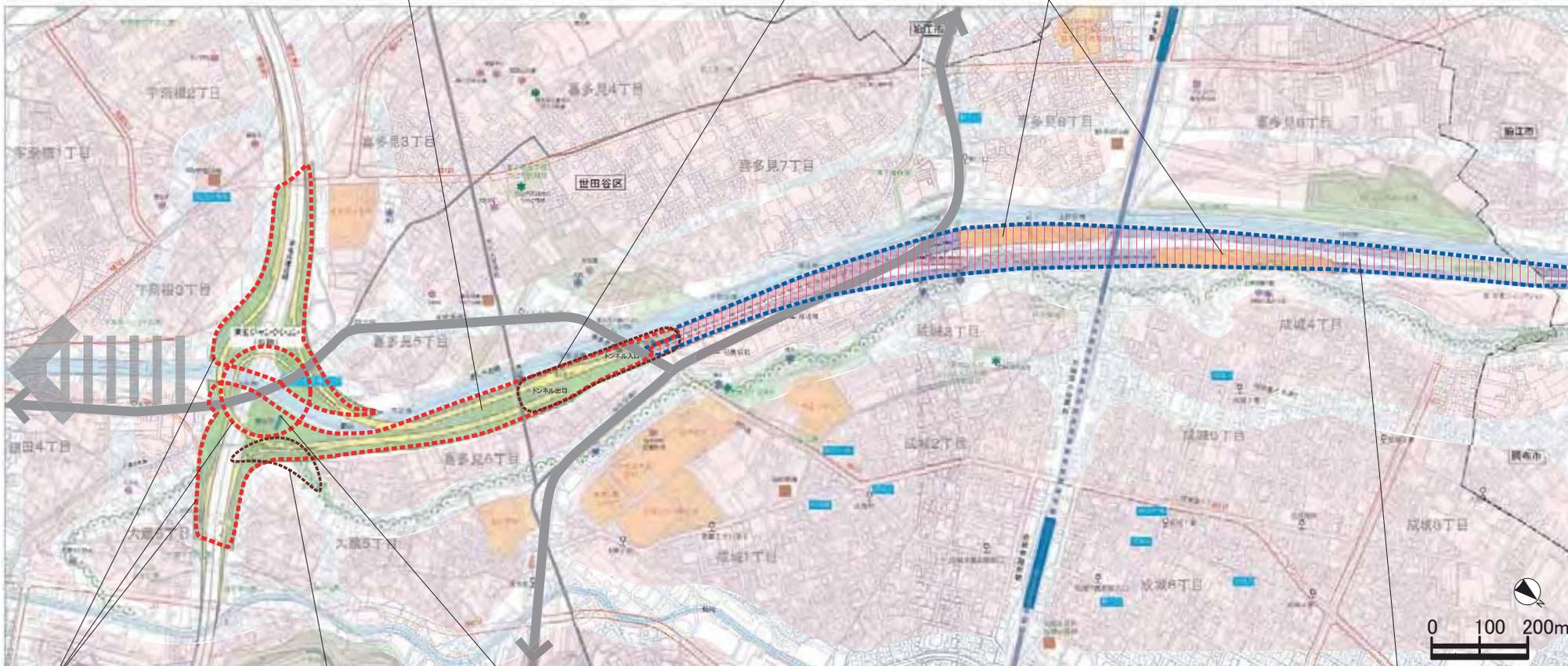
■トンネル合流部

・新しい工法を採用する区間の環境への影響は、もっと慎重に検討してほしい。

生活

・トンネルの合流部の工事によるホテルの自生地区への影響が心配だ。

自然



■ジャンクション

・排気ガス、騒音・振動など周辺地域への負荷を最小限にしてほしい。
・ジャンクション部分の排ガス対策をしてほしい。
・掘削部を中途半端に蓋掛けすると、蓋がけされていない地区からの排気が増え、その地区にシワ寄せがいくだけのことにはならないのではないか。

生活

・喜多見電車基地上部のきたみふれあい広場の様な良い公園になるのであれば良い。

まじ

■殿山

・殿山の緑が失われると共に、それが野鳥の生態系に影響することに懸念がある。

自然

■換気所

・現状の換気所の設置位置、数では、この地域だけにシワ寄せがきているように思われる。また、悪影響を分散するという考え方もあるはずなのに、料金所、換気所という排気が出る要素をなぜ集約させてここに作ったのか疑問である。技術的に最適だという根拠や決定までのプロセス（複数設置も検討したのかなど）が示されないと納得がいかない。
・換気所の数がひとつで十分なのかという懸念。

生活

■トンネル部

・料金所の渋滞による排ガスの影響が懸念される。この位置が複数の案を検討した上での最善の計画であるのか知りたい。

生活

Bグループ [2/4] 場所を特定できる意見 (外環本線の周辺)

■宇奈根(本線近接)

・東名高速道路ができたことによる騒音の増大や大気汚染を考えると、外環ができることによる影響も大きいと思う。

生活

■喜多見小学校

・喜多見小学校に対する騒音による影響が懸念される。

生活

■大正橋(野川に架かる橋)

・大蔵5丁目から喜多見や宇奈根に行く際には大正橋を利用する。できれば現状とは位置をあまり変えずにその機能を残してほしい。
・野川に架かる橋はそれぞれの地域の重要な生活の道となっているので、これらの生活道路の機能はできるだけ変えないようにして確保したい。

生活

■喜多見5・7丁目

・喜多見5丁目から砧小学校に通学する児童がいるが、その通学路がどのように確保されるのかという懸念がある。

生活

■野川周辺

・野川の自然が守られるように、湧水への影響を少なくしてほしい。
・野川では清流に生息する野鳥のミソサザイが観察できるが、トンネルによって湧き水に影響が出て、その川が涸渇するのではという不安がある。
・野川沿いの道は住民の憩いの場となっているため、残してほしい。
・シールドトンネルによる地盤への影響が懸念される。

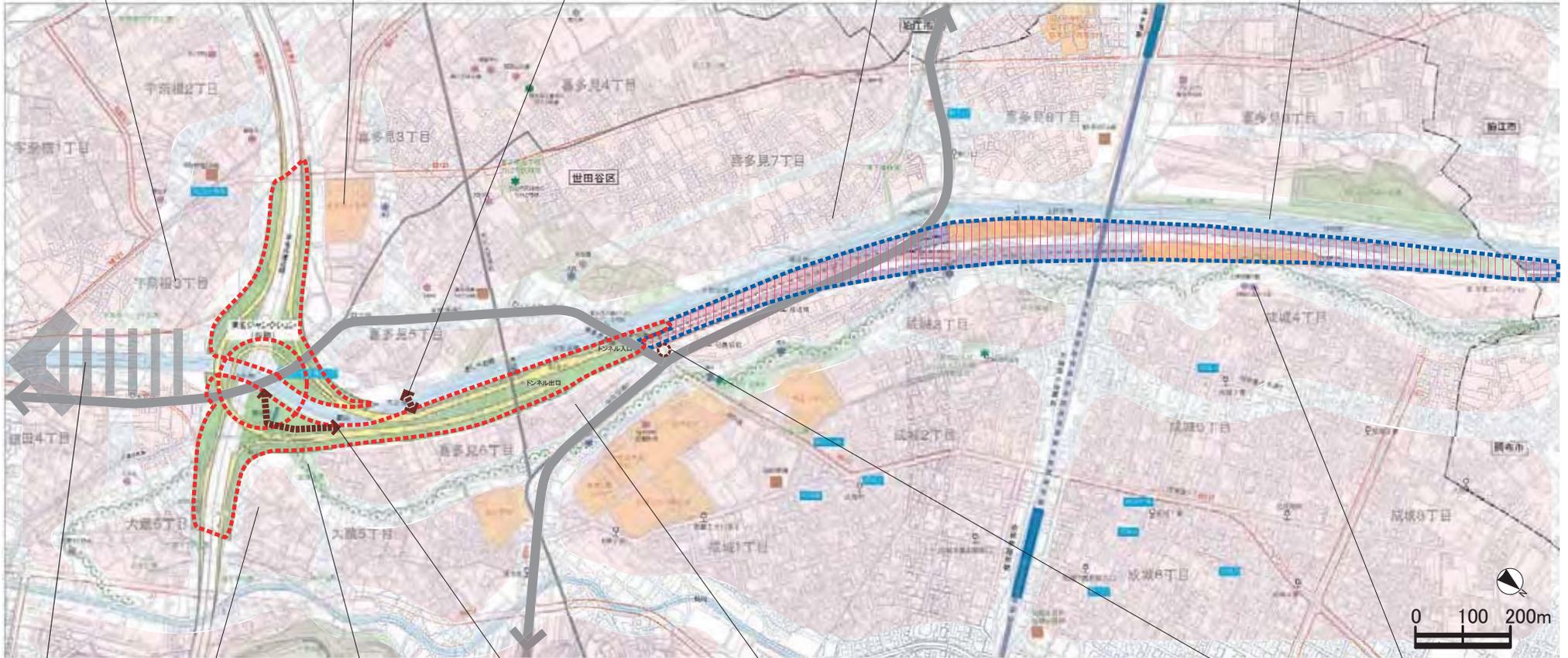
自然

・散歩道としても利用されている野川沿いの道へのアクセス道路は確保してほしい。

生活

・過去の事例を用いて、シールドトンネルの湧水への影響を説明してもらえると納得がいくし、懸念も払拭される。

生活



■東名以南

・外環東名以南に延伸した場合、ジャンクション周辺では交通渋滞がひどくなるなどマイナス要因も考えられる。プラス面ばかりではなく、マイナス面も検討課題として明示して欲しい。

交通

■大蔵5丁目(本線近接)

・外環ができて影響は少ないと説明されたが信じられない。(影響が少ないという調査結果を元に、対策がなされないとしたら不安だ。)

生活

■田直公園

・田直公園が現状のように子どもを安心して遊ばせられる生活環境を維持して存続できるのかという懸念がある。
・田直公園に対する排ガスや騒音の影響が懸念される。

生活

・田直公園に対する景観への影響が懸念される。

自然

■大蔵5丁目を抜けて多摩堤通りに至る道

・大蔵5丁目を抜けて多摩堤通りに抜ける道は廃道になると思うが、地元住民に通勤などで日常的に使われているので代替の道路を確保してほしい。また、地区外からの通過交通も多いので、周辺の道路の処理を同時に考慮してほしい。

まち

■ジャンクションと国分寺産線に挟まれた地域

・現状の換気所の設置位置、数では、この地域だけにしわ寄せがきているように思われる。また、悪影響を分散するという考えもあるはずなのに、料金所、換気所という排気が出る要素をなぜ集約させてここに作ったのか疑問である。技術的に最適だと根拠や決定までのプロセス(複数設置も検討したのかなど)が示されないと納得がいかない。
・ジャンクションをドーム構造にした場合、国分寺産線との間がくぼ地になるため、大気汚染が懸念される。
・料金所の渋滞による排ガスの影響が懸念される。この位置が複数の案を検討した上での最善の計画であるのか知りたい。また、3車線で処理が可能であるという根拠を示してほしい。
・周辺を囲まれることによる日照の変化に配慮すべき。

生活

■農協跡地

・周辺を囲まれることによる景観的、心理的圧迫感に配慮すべき。

自然

・外環整備に伴って生活道路が廃止、変更される場合には、利便性が低下しないように代替を確保してほしい。

まち

■神明の森みつ池

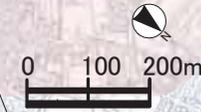
・農協跡地などの計画線外の関連用地が、完成後にどうなるのかという懸念がある。外環建設に関して取得した土地はその後の利用方法も含めて、住民に諮りながら検討してほしい。

まち

■神明の森みつ池

・トンネルの合流部の工事によるホテルの自生地区への影響が心配だ。

自然



Bグループ [3/4] 場所を特定できない意見（交通～用地補償）

■場所を特定できない意見

- 生活道路の交通量が増えないようにしてほしい。
- 現在の基盤であることで通過交通が少なく、古くからの緑が守られ、乱開発から守られた、安心して生活できる地区となっている。住民としてはこの地区の道路基盤は現状のままにしたい。

交通

- 窓を開けて深呼吸できるきれいな空気と静かな環境のある今の暮らしが維持できるようにしたい。
- 排気ガスなど周辺地域への負荷を最小限にしたい。
- ジャンクション全体を地下化できれば地域への影響は小さくなるが、現計画案の1案だけを押し付けられているようで、そういう可能性が十分に検討されているのか疑問に感じる。
- 予測データは信憑性に欠けるので、事例を検証する形で環境への影響を示してほしい。
- 完成後に生活や自然環境への影響が出た場合にどう対応してくれるのか疑問だ。
- 経済効果やCO₂発生の影響について、予測データは信憑性に欠けるので、事例を検証する形で環境への影響を示してほしい。
- 過去の事例で起こったことがここでも起きる可能性があるため、事業を進める前にきちんと検証をして欲しい。また、事業の影響について誤解している人がいる様なので、住民が意見を言う場にも、過去の事例検証など正確性の高いデータを示すべき。
- 季節によって風向きなどの大気の様子が変わるので、年間に何度も調査をしてデータを示してもらえると納得のいくデータになる。
- 第3者機関がきちんとデータを検証しているか疑問である。
- ドーム構造などの対策を行った際に出る影響について考慮してほしい。
- 影響が大きいと思われる道路に近い箇所での環境調査を実施してほしい。
- 排気ガス、騒音・振動など周辺地域への負荷を最小限にしたい。
- ジャンクション部分の騒音対策をしてほしい。
- 騒音や振動の予測データでは、何ら対策を講じなくとも、外環整備後にはそれらが改善されるという地区（喜多見や大蔵のジャンクション周辺）がある。これは容易には信じ難い。情報は提示されるだけでなく、納得できる説明が必要。
- 喜多見大橋付近では湧水が多い。この辺りではこの水を生活用水、飲料水に使っている人もいるので、枯渇したり水質への影響が出るのではと心配だ。

生活

- 地域の緑や自然など地域資源を壊さないようにしてほしい。
- 緑と水、生物環境など、豊かで貴重な自然のある地域なので、それらを守りたい。
- 地域へのデメリットを最小限にしたい。地域にメリットがあるような整備をしてほしい。
- 自然環境など周辺地域への負荷を最小限にしたい。
- 自然環境の各要素など元に戻らないものには可能な限り手を出さず、現状をなるべく保存する事を基本として欲しい。
- 完成後に生活や自然環境への影響が出た場合にどう対応してくれるのか疑問だ。
- 完成後に環境が変化するのは明らかで、住民の強い関心事でもある。変化を見るためには物差しとなる建設前のデータをしっかり取る必要があり、調査地点や回数を増やし、納得のいくデータを示してほしい。
- 野鳥が住めるような自然環境を維持してほしい。
- これまで示されているデータの信頼性を明確にしたい。（ルートの位置から議論する必要があるのでは。）
- シールドトンネルによる地盤への影響が懸念される。
- 地盤に関する調査はされているか。本当に大丈夫なのか具体的に示してほしい。

自然

- 一面的な対策ではなく、WIN-WINになるように対策は考える必要がある。
- 分断されてしまう生活道路は、完成後も機能が確保されて、日常生活に支障がないように検討する必要がある。
- 計画線の外への影響が大きいことを考えると、外環によって分断される生活道路の機能を代替する道に関する十分な検討が必要ではないか。
- 環境施設帯を利用して、生活道路機能が確保できるようにしてほしい。その際には、環境施設帯の効果が弱まることのないように留意してほしい。
- 東宝ビルド周辺の自然林、野川やみつ池の水とそこに生息する動植物などの長い時間をかけて自然が作り出したものを次代に伝えることのできる地域にしたい。
- 殿山、国分寺崖線、野川などの豊かな自然環境の中で、都心にあって身近に自然を感じることができる地域にしたい。
- 学校が多く自然が豊富なことを生かし、子ども達が心身ともに豊かに育つことができる文教地区にしたい。

生活

- 外環をつくるのが税金の無駄遣いにならないようにしてほしい。
- 高速道路周辺で痴漢が多いというデータもあり防犯面の不安があるので、ルート本体と周辺整備の両面から対策を考えてほしい。

安全

- 分断されてしまう生活道路は、工事中も機能が確保されて、日常生活に支障がないように検討する必要がある。
- 工事期間が長期に渡ると思うので、完成後だけでなく工事期間中の生活道路機能の確保も検討する必要がある。
- 工事期間中の工事車両による渋滞や騒音、排ガスについても気になるので、どのようなルートで行き来するのかを明らかにしてほしい。
- 工事中の子ども達の安全性を確保できるように、スクールゾーンへの工事車両の通行規制などを行ってほしい。
- 工事車両による周辺の学校に通う児童、生徒の安全性の影響を懸念している。通行だけでなく、朝の始業に合わせて路上駐車している車両も気になる。登校時もそうだが、学年によって時間帯が変わる下校時間は保護者のフォローもしくいので心配である。
- 工事における補助工法での凍結工法などによる土壌・地下水環境への影響を懸念。
- 地下を掘った場合には土が酸化して地盤が弱くなることもあると聞いている。特に新しい工法となるトンネル合流部である神明の森みつ池付近での影響が気になる。
- 開削工事における地下水の遮断を懸念している。

工事

- 今後の生活設計をするために、事業スケジュールを早急に示してほしい。
- 計画線がかかるかどうかという場所に住んでいる住民は生活設計ができずに困っている。生活に大きくかわることなので、できるだけ早く明確にしたい。
- 用地の代替地は農地だけでは困る。宅地を含めて補償してもらいたい。また、整備の対象となる地域で会社を営んでいる人たちがいるので、そういう人の営業権も補償してほしい。
- 地権者への説明がない。オープンハウスや官報だけでは説明したことにはならない。
- すでに外環整備のためと思われる用地買収が始まっている中で、計画の変更も含めた検討を本当にするつもりがあるのか、少なくともその誠意は感じられない。

利用

■凡例



Bグループ [4/4] 場所を特定できない意見（計画検討の進め方、地域課題検討会の進め方）

■計画検討の進め方

- ・予測データは信憑性に欠けるので、事例を検証する形で環境への影響を示してほしい。
- ・予測の値はいくらでも操作ができるのではないかと思う。予測方法、B/Cの前提、計算方法といったものをきちんと示してほしい。
- ・先行事例の反省が生かされず、同じ過ちを繰り返すのではないかという懸念がある。既に外環が完成済みの区間におけるデータを十分検証することが必要だ。
- ・根本的に外環の必要性に懸念がある。外環整備効果として示されているデータには恣意性も指摘されており、指標としての信憑性に欠ける。それらの信頼性と妥当性を事例を示しながら説明してほしい。
- ・議論の前提として、事業主体と責任の所在を明確にほしい。
- ・生活設計ができないので、決めるならば早く決めて、それを伝えてほしい。
- ・これまで示されているデータの信頼性を明確にしてほしい。必要性やルートの位置から議論する必要があるのではないか、また、影響がないからときちんとした対策をしてくれないのではと不安だ。
- ・新たに喜多見6丁目で大気質の調査をするそうだが、これまでに行った環境影響調査が不十分ではないかと感じる。
- ・通過交通量や経済効果について外環の効果を過大評価しているのではないか。必要性を説明する際には、住民が誤解する様な表現は避け、客観性を持ったデータを示すべきだ。
- ・第3者の委員によるデータのチェックが必要だと思うが、その委員の選出にも公平性と客観性が保てる様に留意してほしい。
- ・環境データの観測地点の妥当性、選択の根拠を示してほしい。
- ・現状のデータは外環から離れた場所で測定しているため、影響がないと言われても信用ができないので、喜多見小学校や砧小学校など測定地点を増やしてデータを把握し、その数値を反映した計画にほしい。
- ・行政は現行案に縛られてしまうと思う。民間のアイデアを取り入れるため、コンペを開催し、初期案に拘らない案を複数案検討すべきだ。
- ・複数案のメリット・デメリットを科学的データを判断材料に比較したい。一つの案では懸念ばかりが増えていく。どのような案にもメリット・デメリットがあるのだから、それらを客観的に比較し議論したい。ランプをループとした大橋ジャンクション(高速3号渋谷線～中央環状新宿線)や既存の各ジャンクションのデータを活用し、様々な案を検討してはどうか。
- ・住民側の懸念事項には、科学的なデータを用いて具体的根拠を示した説明が必要。これまで、求めたデータの開示に応えてもらえていない経緯がある。これでは懸念は払拭できない。

進め方

■地域課題検討会の進め方

- ・つくることを前提とせず、幅広く議論できる場とすることが必要。
- ・外環道の必要性について十分に議論がされていない。地域課題検討会の場でもっとその話をすべきではないか。
- ・この場での議論が反映されず、結局住民の意見を無視して進めてしまうのではないか。
- ・地域の課題についての意見だけを取り上げられると、まるで計画に賛成しているように思われるが決してそうではない。意見を取りまとめる際には、文脈を読んで、参加者の思いを歪めたりしないように留意してほしい。
- ・これが最適な案だと示す際には、大泉ジャンクションなどの他事例をもとに、計画の根拠を説明してもらえると理解しやすい。
- ・複数案を提示し、比較検討した上で案を絞り込むというプロセスがなされていないため、これが最適な案なのか疑問に思う。
- ・全体での意見交換、Q&Aの時間もほしい。
- ・基本的には作って欲しくないが、後戻りは難しいと思うので、できるだけデメリットを減らす視点から話をしている。前向きに議論をするためにも、計画案の技術的な妥当性、環境影響調査の信憑性などの十分な情報を開示してほしい。
- ・検討会の回数や時間を延ばしても良いので、時間をかけて十分話し合うべき。
- ・これが最適な案なのか疑問がある。この地域だけにしわ寄せがきていると思えるこの計画案の妥当性を、技術的に住民がわかるように説明してほしい。住民の疑問に答える機会をこの会の中で作ってもらいたい。
- ・これまで示されているデータの信頼性を明確にしてほしい。(必要性から議論する必要があるのでは。)
- ・古いデータや不十分なデータを示されると、都合が悪いものを隠しているのではないかと感じるし、その状況で無理に議論を進めようとする不信感がつのる。
- ・道路整備の予算はどのように決まるのか。
- ・地域課題検討会での意見が計画に反映されていると住民が認識するためには、「検討すべき課題」に自分達の意見が十分に反映されている必要がある。
- ・何度懸念を言っても「検討すべき課題」には載らないと感じている。意見は聞きましたよというセレモニーになっているのではないか。

進め方

■ジャンクション
(かけあがり部分高架下・環境施設帯)

- ・現計画では、ジャンクションの高低差が大きいため渋滞することを懸念している。
- ・緑地部分を地域に開放して緑地・農地として活用してほしい。

交通

自然

■料金所

- ・料金所の構造物がどれくらい高いものになるのかイメージができないため、心配である。

進め方

■トンネル
～次大夫堀公園間

- ・地上部の利用として、トンネル坑口部から次大夫堀公園まで、みどりの景観を考慮した計画を期待する。

自然

■地上部
出入口周辺

- ・地下からの出口部分の排気ガスが懸念される。

生活

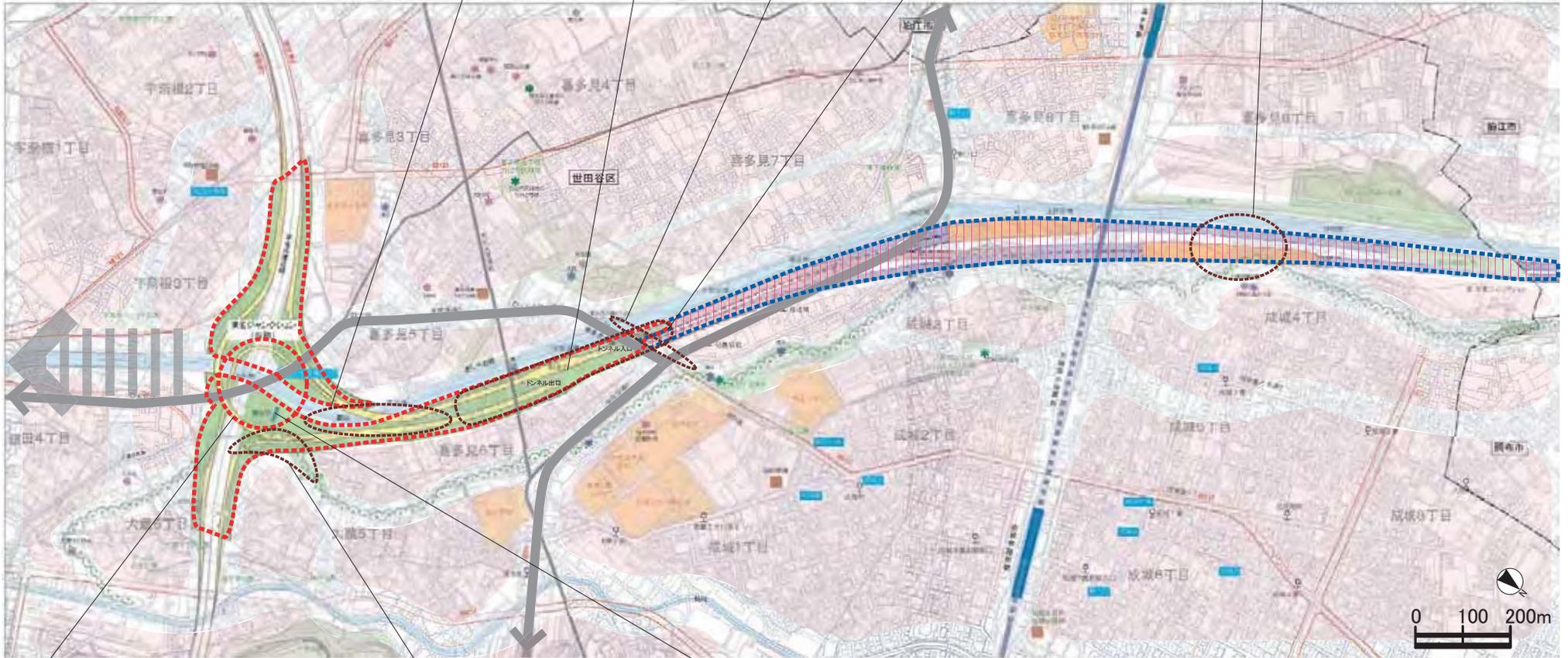
■野川沿いの大深度部分及び国分寺崖線周辺(成城4丁目)

- ・成城4丁目野川沿いの大深度部分は地盤が軟弱であるため、騒音・振動などの詳細な環境影響調査をしてほしい。
- ・成城4丁目野川沿いの大深度部分は、騒音・振動・地盤沈下などの詳細な環境影響調査をしてほしい。

生活

- ・事業近接地での地下水の漏洩が懸念される。
- ・野川周辺の崖線部分などは地盤が弱いので、むしろ野川直下を通すようにしてほしい。

自然



■ジャンクション中心部

- ・区民の意見をきちんと計画に反映してくれるのか懸念している。
- ・これまで出された意見がどのように計画に反映されたのか示されることを望んでいる。
- ・ジャンクション部の構造の検討は複数案を提示するなどして、全体的な視野で自由に話し合うことが重要である。
- ・東京は日本の玄関口であるのだから、ジャンクション部の構造の検討は複数案を提示するなどして、全体的な視野で話し合うことが重要である。

進め方

- ・ジャンクションは片側の車線を別のジャンクション、インターチェンジに接続させるなど、渋滞を緩和してほしい。

交通

- ・世界の東京であるのだから、景観や環境のことをきちんと考慮してほしい。それらを考えると、地下ジャンクション方式が望ましい。

生活

■殿山

- ・殿山の景観やみどりが壊されないか心配している。
- ・この土地の良さとして、御料林、緑、大きな木などが残る野川一帯から殿山までの田舎の風景を活かした計画となることを期待する。
- ・地上部の利用として、畑をつつて住民に開放し、有効利用と地域還元を考えてほしい。
- ・せっかくできた自然を壊してほしくない。現在の計画では世田谷区は大深度でやる部分が20%しかない。もっと地下化エリアを増やすことを検討してほしい。

自然

■換気所

- ・換気所は周辺と調和したデザインを考慮したものとしてほしい。この計画を地域活性化の機会としたい。広い視野をもった計画を期待する。
- ・換気所ができたあとの景観が悪くなることを心配している。
- ・換気所ができたとき、どんな感じになるのか、料金所がどれくらい高いものになるのかイメージができないため、心配である。

進め方

- ・換気所からのCO₂やNO_xなどの排気ガスを適正に処理してほしい。
- ・換気所を複数箇所設置するなど、詳細なデータのもとに計画・施工してほしい。
- ・換気所からの排気ガスを、住民の健康が守られるように十分に議論して、適正に処理できる計画を期待する。
- ・排気ガスを無害化するため、どう処理するのか知りたい。
- ・周辺地域は地形の高低があるため、

自然

- ・近隣地域への影響を考えると、換気所の高さ30mで大丈夫か懸念がある。
- ・排気ガスを適正に処理できる計画にし、住民の健康が守られることを期待する。
- ・設置箇所を増やすなど、詳細なデータをもとにリスクが分散できる環境に配慮した計画・施工をしてほしい。
- ・換気所周辺住民に対して排気ガスに関する補償や優遇措置をとってほしい。

生活

- 喜多見5・7丁目（本線近接）
- 喜多見3丁目（本線近接）
- 喜多見3・4・7丁目（周辺）
- 野川と多摩堤通りに挟まれた地域（本線近接）

かつての大名根拠地としての由緒ある喜多見の風景を大事にしてほしい。

自然

■世田谷通り、多摩堤通り

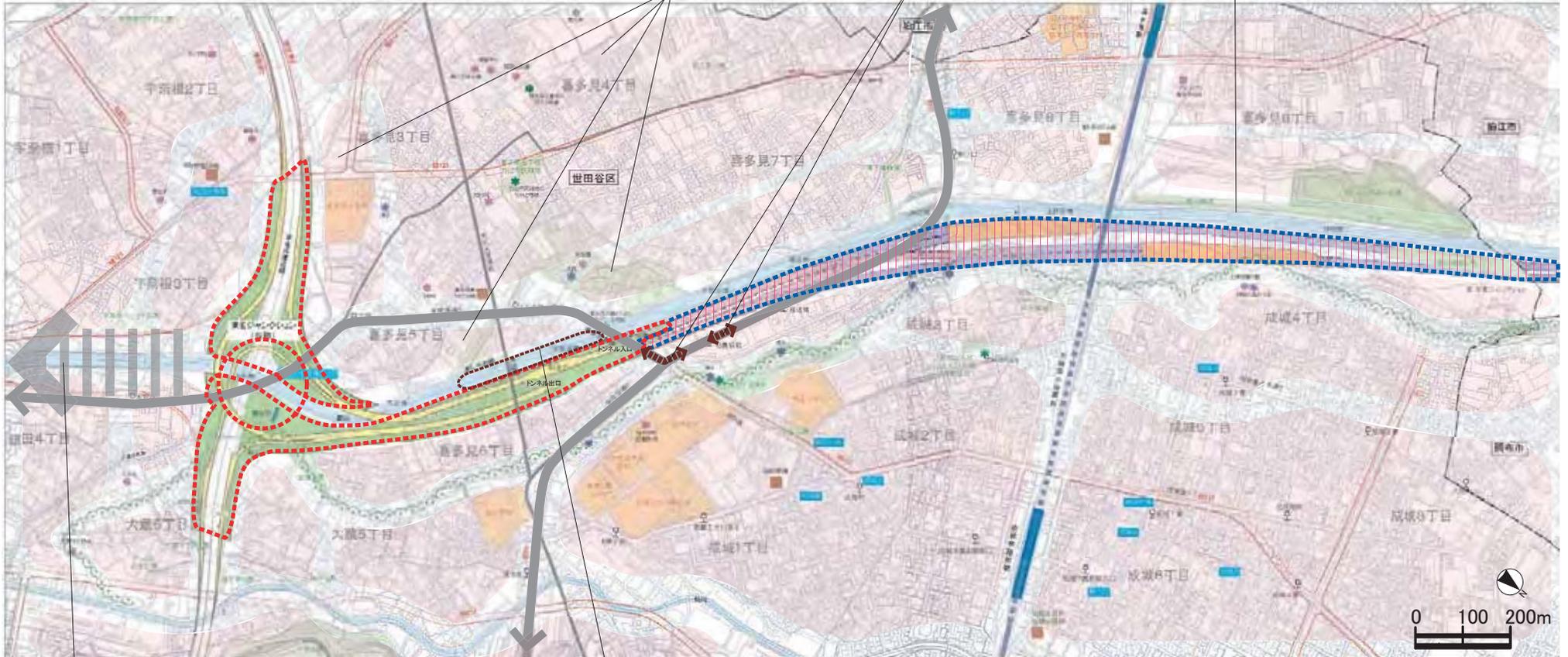
工事車両により、道路基盤が整っていない世田谷通りや多摩堤通り周辺で、新たな交通集中と渋滞が発生しないか心配だ。

工事

■野川

野川の豊かな風景である。草木、みどり、鳥などの動植物の豊かな環境が残されるのか懸念している。

自然



■東名以南

東名以南の計画の目処が立たないことや、同時に整備されないことには、本線やジャンクション周辺の地域の道路にまで渋滞を招くことが懸念される。

交通

東名以南のプランをはやく出してほしい。

その他

■野川（ジャンクション隣接区間）

地上部の利用として、畑をつかって住民に開放し、有効利用と地域還元を考えてほしい。野川の景観を壊さないでほしい。景観を活かした計画・施工を希望する。
この土地の良さとして、御料林、みどり、大きな木などが残る野川一帯から殿山までの田舎の風景を活かした計画となることを期待する。
野川の豊かな風景である。草木、みどり、鳥などの動植物の豊かな環境が残されるのか懸念している。
せっかくできた自然を壊してほしくない。現在の計画では世田谷区は大深度でやる部分が20%しかない。もっと地下化エリアを増やすことを検討してほしい。
人工河川である野川は30年で自然豊かな川となった。ジャンクションを地下化するなどで、この豊かな野川の自然を残すことを期待する。

自然

■場所を特定できない意見

- ・外環本線は、運送用の車両を優先させるなど交通量を管理することにより渋滞緩和してほしい。
- ・東名東京インターチェンジなどジャンクション周辺の交通負荷の増大に具体的な対策を講じてほしい。
- ・喜多見地区は、道路基盤がよくないことから、事業中、事業終了後も含め、渋滞への懸念および交通渋滞を招くことによる大気汚染が懸念される。
- ・外環に合わせた周辺道路の整備により、新たな交通集中が発生しないか心配。
- ・東名以南を含め、外環を東京湾へ通じさせる計画を大前提として検討してほしい。
- ・東名以南の延伸し、外環が整備されることで、首都圏の高速交通網が完成し、渋滞が解消されることが期待できる。
- ・東名以南の計画が進まなければ、東名ジャンクション周辺で渋滞が発生するのではないかと心配している。
- ・東名以南の計画と東名東京インターチェンジの利用を合わせて考えることを期待する。

交通

- ・今後も生活環境について詳細に環境影響調査をしてほしい。
- ・環境への影響を低減する方法として地下ジャンクション方式を十分に検討してほしい。
- ・振動などの補償については、問題が起きた場合には対応するなどの確認をしてほしい。
- ・周辺住民などに排気ガスによる影響が出た場合、補償や優遇処置をしてもらえるか心配である。
- ・騒音・大気については、平均値のデータでない詳細なデータをもとに検討してほしい。
- ・今回の計画による環境影響調査だけでなく、現況の清掃工場の排気ガスなど、この地域に影響している全てのことを考慮した複合的な視点に立った環境調査と計画を期待する。
- ・排気ガスを無害化するためどう処理するのか懸念がある。
- ・排気ガスを適正に処理してほしい
- ・今でさえ東名高速道路の排気ガスがひどいのに、これ以上排気ガスの影響が出ることを心配している。
- ・周辺地域は地形の高低があるため、近隣地域への影響を考えると、換気所の高さ30mで大丈夫か懸念がある。
- ・排気ガスを適正に処理できる計画にし、住民の健康が守られることを期待する。
- ・換気所の設置場所決定の理由を知りたい。設置箇所を増やすなど、詳細なデータをもとにリスクが分散できる、環境に配慮した計画・施工をしてほしい。
- ・換気所から近い位置への具体的な影響および対策について懸念がある。
- ・換気などからの排ガスが成城市街に流れ込まないか懸念がある
- ・換気所からの炭酸ガスなどの排気ガスを適正に処理してほしい。
- ・排気ガスを無害化して処理する仕組みをわかりやすく説明してほしい。
- ・トンネル工事による、振動・火災・水質への影響について、事例や実験結果を開示してほしい。
- ・排気ガスの換気所がどうしてここなのか、その理由が知りたい。
- ・外環が東名まで整備された場合と東名以南まで整備された場合と比べて利用交通量を比較した場合、東名以南まで整備されない場合ではジャンクション利用交通量が3倍くらい多いため、大気質への影響を考慮して東名以南を整備して欲しい。
- ・喜多見地域の教育施設、医療施設などの周辺で、換気所から排出ガスの最大着地濃度が発生することを心配している。
- ・換気所という地域にとって、最も巨大な負の建造物がつくられてしまうということを受け止めて欲しい。コストを優先して環境を軽視されることが懸念される。
- ・SPMよりも新たに懸念されてきているPM2.5への対応が心配。

生活

- ・周辺地域の用途地域の変更により、風致地区のみどりが減少しないか心配である。
- ・地下水など、事業後に予期しない影響が出たときには、きちんと対応してほしい。
- ・工事を経たあと、地下水(井戸)の水量、水質、pHが保たれるのか心配している。
- ・工事を経たあと、地下水(井戸)について災害時に水の提供ができるくらい量の量、水質が保たれるのか心配している。
- ・トンネル工事による、振動・火災・水質への影響について、事例や実験結果を開示してほしい。
- ・周辺地域のみどりの環境の変化や今後のあり方について懸念がある。
- ・緑地部分を地域に開放して緑地・農地として活用させてほしい。
- ・景観への影響を低減する方法として地下ジャンクション方式を十分に検討してほしい。
- ・ジャンクションの威圧感を心配。

自然

- ・どうすれば住民にとって良い街になるかなどについて議論をすることが大切である。
- ・東京の田舎であった古きよき喜多見の風景(農地、殿山、大六天、雑木林、里山の風景)が外環整備によって失われてしまう場合は、復元する工夫をしてほしい。
- ・古くから残されている資源がある地域にしたい。
- ・「東京の田舎」の維持と復元をめざし、昔からある資産(農地、小川、里山等)を大切にしたい地域にする。
- ・緑というより、農地の復元をし、農業体験ができるなど自然と親しみがもてるようなまちにしたい。

まち

- ・トンネル工事による、振動・火災・水質への影響について、事例や実験結果を開示してほしい。

安全

- ・事前の移転補償だけでなく、完成後に問題が出た場合の補償など柔軟な対応をしてほしい。
- ・土地の一部が事業対象となる場合の補償も厚くすべきである。
- ・事業の影響は地域全体の問題であるので、直接事業対象とならない場合でも、補償について柔軟な対応をしてほしい。
- ・大深度法における深度の測り方を教えてほしい。

利用

■計画検討の進め方

- ・計画実施によるリスクを分散させるなど、考慮が必要である。
- ・中央環状線の例で具体的な数値を見て、評価してから検討し、計画に反映させてほしい。
- ・事業を進める際には、早い段階から行政と住民との話し合いを行う必要がある。
- ・新しく住民になる人たちにも正確な情報を知らせるなど、十分な対応をしてほしい。
- ・今後、都市計画決定の際には、住民の納得を確認しながら検討を進めてほしい。
- ・環境アセスメントはあらかじめ適正に行う必要がある。
- ・環境影響調査をやり直すなどで、複合的な視点に立った詳細な環境調査をしてほしい。
- ・最新の技術を駆使することを期待する。
- ・ジャンクションの構造を複数案示して意見を聞いて欲しい。

進め方

■地域課題検討会の進め方

- ・都市計画決定したことは、住民が納得するような説明が必要だ。ジャンクションの地下化の可能性について話したいのに、決定事項によっては、話し合っても無駄になることを心配している。決定事項や前提条件を示してほしい。出した意見を無駄にしないためにも、この会の検討範囲を明確にすることが必要だ。
- ・東名以南の計画も含めて、計画全体について話し合う場としてほしい。
- ・出された意見がきちんと反映されるのか、会の公平性は保たれるのか懸念している。
- ・PI方式でやって、できた意見をきちんと反映してくれるのか懸念している。
- ・「中間整理」のまとめ方に疑問がある。自分が言った意見がきちんと行政に届いているのか心配だ。
- ・市民の意見を真摯に聴いて計画に反映してほしい。
- ・今までに出された住民の疑問や提言を反映した上で事業の説明をしてほしい。
- ・急いで失敗しないよう、他の事例の効果を検証するなど、もう少し事業を遅らせて、十分に検討した計画としてほしい。
- ・周辺地域の環境に対する影響を考慮し、十分に検討した計画をもって、事業化を行うことを期待する。
- ・箱崎ジャンクションのようなことにならないよう、渋滞の緩和など、十分に検討した計画をもって、事業化を行うことを期待する。
- ・検討は、複数案を掲示するなどして、全体的な視野で話あうべきである。
- ・計画は目に見えるよう分かりやすく説明してほしい。
- ・外環の事業に伴い、関連する都市計画道路がどうなるのか知った上で話し合いたい。
- ・地域に広く、計画についての情報を知ってもらったり、これまで出された意見に対して回答をするなど、行政と住民と双方のやりとりをしながら進めてほしい。
- ・分岐点部分、環境施設帯部分の構造、施工内容についてどうなるのか教えてほしい。

進め方

■凡例



■殿山

- 田直公園付近の緑地帯(殿山)が無くなるのではないかと心配。
- 国分寺崖線(殿山)の減少が心配。

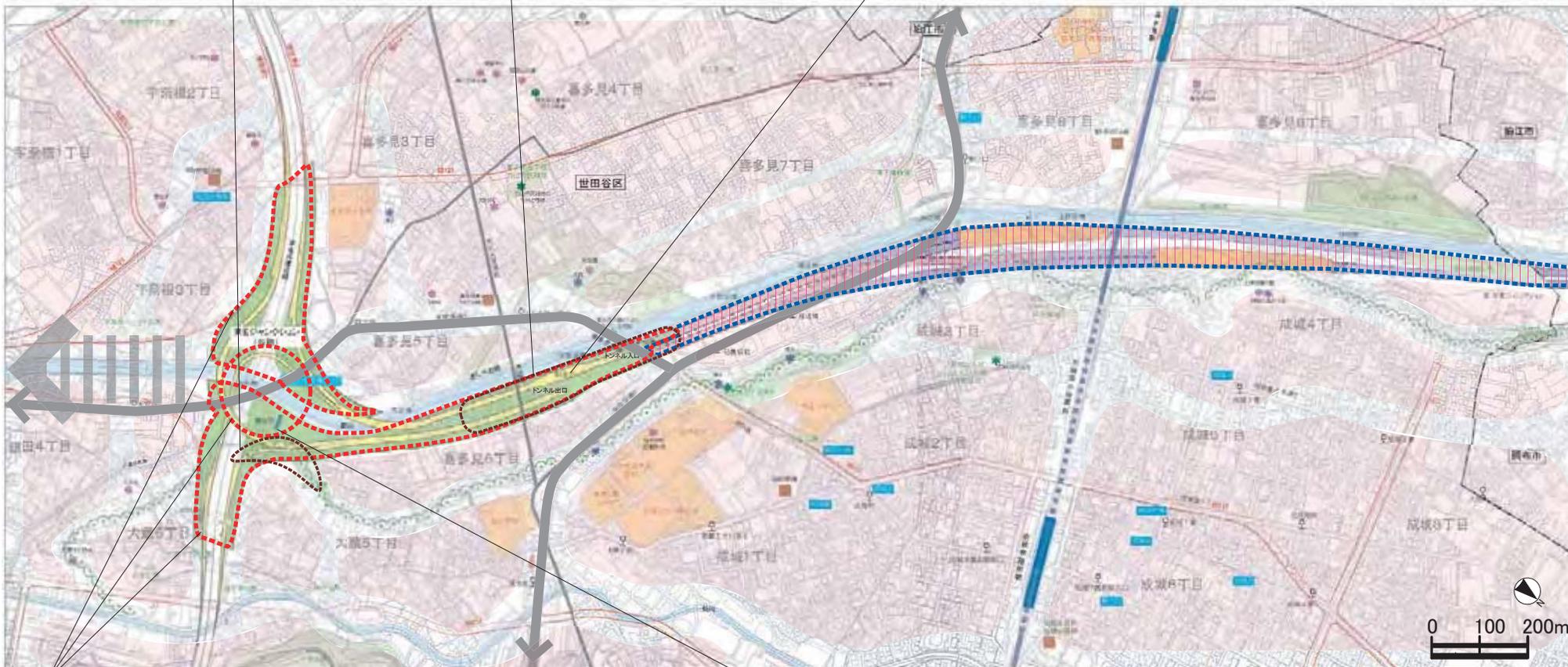
■地上部出入り口周辺

- 外環の地上部で燃料や危険物等を積載した車両の事故が発生した時に、避難スペースや緊急車両の対応策などが確保されているか懸念される。

■料金所

- 環境アセスの結果では、トンネルの出入り口部分が一番影響が大きい。これに加え、換気所や料金所など、環境への影響が心配される施設がこの地域に集中して配置されることが心配である。
- 外環に入る側に料金所を配置することが心配である。料金所には勾配を設けないため、その分、道路延長が長くなり、地上部が増えていることに不安がある。

- 外環に入る側に料金所を配置することが心配である。料金所を地下に設けることや、蓋をかけるなどして地下になる部分をできるだけ増やしてほしい。
- 外環に入る側に料金所を配置することが心配である。ETCの普及やタグを使用した課金システムが開発されれば、料金所自体が不要になるかもしれないので、現計画よりも地下になる部分を増やしてほしい。



■ジャンクション

- ランプが東名高速道路の上部を通るので、景観に及ぼす影響が心配である。

- 環境アセスの結果では、トンネルの出入り口部分が一番影響が大きい。これに加え、換気所や料金所など、環境への影響が心配される施設がこの地域に集中して配置されることが心配である。
- 高架方式から大深度地下方式への変更で、外環沿線の影響が地上部の周辺地域に集中し、負担の公平性が取れていない。不公平な負担を強いられることになった。影響を低減させるために、50年、100年先を見た長期的な視点で、最高の技術を取り入れて、地下になる部分をできるだけ増

- やし、地域の環境に与える影響を可能な限り少なくすることを望んでいる。
- 地上部の環境への影響が心配である。野川や多摩堤通りの付け替えも含めて、ジャンクションの地下化を検討してほしい。
- 立ち退きによる住民の負担が心配である。負担を最低限に抑えるために、地下になる部分をできるだけ増やす工夫をしてほしい。
- ランプが東名高速道路の上部を通るので、風害の影響が心配である。

■換気所

- 環境アセスの結果では、トンネルの出入り口部分が一番影響が大きい。これに加え、換気所や料金所など、環境への影響が心配される施設がこの地域に集中して配置されることが心配である。
- 高架方式から大深度地下方式への変更で、外環沿線の影響が地上部の周辺地域に集中し、負担の公平性が取れていない。不公平な負担を強いられることになった。影響を低減させるために、50年、100年先を見た長期的な視点で、最高の技術を取り入れて、地下になる部分をできるだけ増やし、地域の環境に与える影響を可能な限り少なくすることを望んでいる。
- 外環地下部で排出される排気ガスが、地上部に当る地域だけに

- 集中することが心配である。負担の公平性を考えて、沿線に当る場所に換気所を分散させて、当地区の換気所を小規模にしてほしい。
- 換気所による大気への影響が懸念される。
- 換気所が大きな壁となり風の流れが変化することが心配である。丸い形状や向きを変更するなど、風を遮らないデザインを工夫してほしい。

Dグループ [2/3] 場所を特定できる意見(外環本線の周辺)

■宇奈根

・地上部の環境への影響が心配である。野川や多摩堤通りの付け替えも含めて、ランプを東名高速道路の高架下に通して、地下になる部分をできるだけ増やしてほしい。
 ・地上部の環境への影響が心配である。野川や多摩堤通りの付け替えも含めて、ジャンクションの地下化を検討してほしい。

■野川と多摩堤通りに挟まれた地域

・ジャンクション構造物によるジャンクション周辺の風通しの影響が心配。(喜多見5丁目周辺、田直地区)

■喜多見5・7丁目

・喜多見5・6丁目間の大正橋、水道橋、茶屋道橋がなく、ジャンクションの地下化を検討してほしい。

■野川

・地上部の環境への影響が心配である。野川や多摩堤通りの付け替えも含めて、ジャンクションの地下化を検討してほしい。

■野川

・地上部の環境への影響が心配である。野川や多摩堤通りの付け替えも含めて、ランプを東名高速道路の高架下に通して、地下になる部分をできるだけ増やしてほしい。
 ・地上部の環境への影響が心配である。野川や多摩堤通りの付け替えも含めて、ジャンクションの地下化を検討してほしい。

■野川

・地上部の環境への影響が心配である。野川や多摩堤通りの付け替えも含めて、ジャンクションの地下化を検討してほしい。

■野川

・ジャンクションによる野川への影響が懸念される。
 ・野川は、都内でも自然が残り、親水性もある貴重な川であるが、現在、水量が減りつつある。外環地下部分の整備で、さらに水量が減少しないか心配である。
 ・野川の自然環境、野鳥や植物などの減少が心配。
 ・水道橋から野川の上流を望む際に見える、山並み景観を活かした整備をして欲しい。

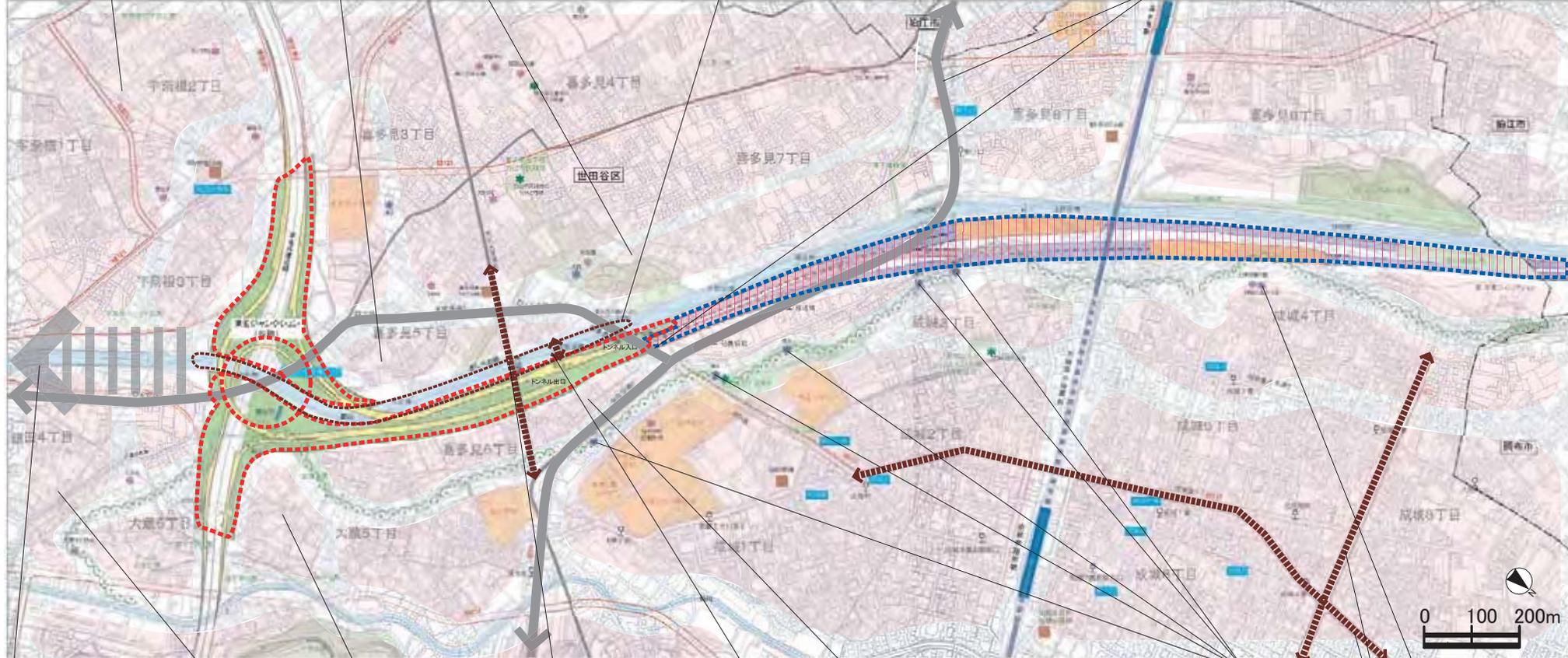
■世田谷通り、多摩堤通り

・現在でも世田谷通りや多摩堤通りは渋滞しており、工事車両が出入りするようになると、さらなる混雑が心配される。

■喜多見6丁目・成城3丁目

・喜多見5・6丁目間の大正橋、水道橋、茶屋道橋がなくなるのではないかと心配である。
 ・喜多見6丁目の計画地内で現在も宅地開発が進んでいるのが心配である。購入者などに移転が必要となることの周知を望む。

■以前、野川を改修した時に喜多見6丁目の地下水の水位が低くなった(深く掘らないと出なくなつた)ことがあるので、今回も影響があるのではないかと心配である。



■東名以南

・東名以南の計画予定地で、住宅開発が進行中であり、将来的に新たな問題につながるものが懸念される。
 ・東名以南を整備する際に、再度工事を行うことにならないか心配。(地上部分だけでも同時に整備してはどうか)
 ・東名以南への延伸がスムーズに事業化されるのかについて懸念している。計画どおり、10年後に供用開始されるように検討をすすめてほしい。

■鎌田

・地上部の環境への影響が心配である。野川や多摩堤通りの付け替えも含めて、ランプを東名高速道路の高架下に通して、地下になる部分をできるだけ増やしてほしい。
 ・地上部の環境への影響が心配である。野川や多摩堤通りの付け替えも含めて、ジャンクションの地下化を検討してほしい。

■大蔵5丁目

・殿山の上の地区は、目の前に換気所の排気口ができるので、どのような影響が生じるのか心配である。
 ・換気所が大きな壁となり風の流れが変化することが心配である。丸い形状や向きを変更するなど、風を遮らないデザインを工夫してほしい。
 ・殿山の上の地区は、現状でも風の影響が非常に強い。換気所が近くに建設されるので、ビル風が生じて影響がでないか心配である。

■水道橋

・水道橋から野川の上流を望む際に見える、山並み景観を活かした整備をしてほしい。
 ・荒玉水道道路
 ・ジャンクション周辺の通学路の分断が心配。(荒玉水道道路)
 ・荒玉水道道路など、小学校の通学路の安全性が懸念される。
 ・荒玉水道道路の生活道路としての機能を重視して、安全性を確保してほしい。

■茶屋道橋

・茶屋道橋のある通りが分断されることが心配である。生活道路として利用しているので外環整備後も残してほしい。

■ジャンクションと国分寺崖線に挟まれた地域

・田直地区の問題点はこれまでもオープンハウスなどでアセスの必要性を指摘してきた経緯がある。今後、田直地区の問題に対応してほしい。
 ・国分寺崖線付近(田直地区)は、地形が特殊であり、現状でも環境影響評価の基準値ぎりぎりなので、整備後に、基準内に収まるか懸念される。
 ・ジャンクション構造物によるジャンクション周辺の風通しの影響が心配。(喜多見5丁目周辺、田直地区)
 ・換気所が大きな壁となり風の流れが変化することが心配である。丸い形状や向きを変更するなど、風を遮らないデザインを工夫してほしい。
 ・田直地区は崖線に加えて、ジャンクション構造物や道路の防音壁、換気所に囲まれることになり、ヒートアイランド現象の発生が心配である。

■湧水

・成城3丁目公園など、国分寺崖線に湧水が4箇所あり水量が減少しないか心配である。

■神明の森みつ池

・神明の森みつ池は、ホタルの生息地であり、環境への影響が懸念される。

■補助217号線及び52号線

・地区内交通量が増大し、都市計画道路補助217号線及び52号線の幹線道路や生活道路のさらなる拡幅が進められ、成城地域の住宅街の環境悪化が懸念される。

Dグループ [3/3] 場所を特定できない意見

■場所を特定できない意見

- 東名以南が整備されない、環状8号線などで渋滞の発生が懸念される。
- 地域の道路網・段階構成が未整備の状態で、生活道路の交通量が増大し、静かな住宅街の住環境の悪化が懸念される。

交通

- 外環利用車による東京インター周辺への交通集中による地域への影響が懸念される。
- 東京インターチェンジなどを経て、地区内交通量が増大し、公害が発生することが懸念される。
- 東名以南の有無による環境への影響の違いに関心がある。
- 東名以南が整備されない状態では、一括整備に較べて地域への環境などの影響が大きくなるのが心配である。影響を少なくするために、東名以南の整備を早く進めてほしい。
- 料金所近くに住んでおり、外環に入る側に料金所を配置することで地域の生活環境への影響が心配である。これまで料金所の地下化を要望してきたが、料金所の職員への健康被害などの理由で地下化はできないとの回答である。地下に料金所が設けられている例はあるので、外環でも地下化して地下になる部分をできるだけ増やしてほしい。
- ジャンクションの整備による新たな自動車公害の発生が懸念される。
- 東名以南の有無による環境への影響の違いに関心がある。
- 東名以南が整備されると換気所が2箇所になり、影響が大きくなるのが心配である。フルジャンクションの場合を想定して環境アセスを実施してほしい。
- 東名以南の整備が放置される可能性もあるので、東名以南が整備されないことも想定して最善の対応を考えるべきである。
- 各地で新しい道路ができると新しい公害が発生しているが、症状が明らかとなり、原因究明や対策が講じられるまでに長い時間がかかる。長期的に観測を続けることが必要である。
- 光化学スモッグ、粉塵による住環境の悪化や健康被害が懸念される。
- 換気所など、大気汚染対策の内容を明確にしてほしい。
- ジャンクション周辺の騒音の発生が心配。
- 振動、騒音による住環境の悪化や健康被害が懸念される。

生活

- 風致地区の環境を保全できるか心配。

自然

- ジャンクションの整備後の地域分断が懸念される。
- 生活道路が分断されてしまうのが心配
- どのような対策を講じてても外環は東名地域の環境への影響がゼロにならないことを心配している。周辺地域を対象とした補償を考えるべきであり、地域に不足している施設整備や緑化などプラスの影響を与えるようにしてほしい。
- 国分寺崖線と野川が近くにあり、空気が澄んだ閑静で安全な住宅地域にしたい。
- 国分寺崖線や野川、そこに生息する動植物に親しみやすい地域にしたい。
- 旧登戸道の沿道を中心とした喜多見の歴史を伝えていく地域にしたい。

生活

- 現在でも世田谷通りや多摩堤通りは渋滞しており、工事車両が出入りするようになると、さらなる混雑が心配される。
- 工事中の光化学スモッグ、粉塵、振動、騒音による住環境の悪化や健康被害が懸念される。
- 掘り出される土が土壌汚染されている可能性もあり、残土の処理方法が心配である。
- 夜間工事による影響が懸念される。
- 工事で人が地域に出入するので、地域の風紀の悪化が懸念される。
- 工事行程を明らかにしてほしい。(何区間、開削位置、従事人数、期間など)
- 工事車両の停車時のアイドリングによる排気ガスを懸念しており、対策を講じて欲しい。

工事

- 移転時期などの条件が不明確なため、住宅の補修時期を決めかねるなど、将来の生活設計が不安である。
- 用地買収に入る時期を明らかにしてほしい。
- 近くに移転先が見つかるかわからない。

住保

■計画検討の進め方

- 整備後に環境への影響が発生した場合の対応策が必要である。
- 完成後に現在では想定できない問題が発生するだろう。モニタリングだけでは不十分であり、想定外の問題に対応できる体制を備えるべきである。そのためにも、完成後もPI継続すべきである。
- 現在の計画は上下線で2本のトンネルを掘る計画である。暫定的に1本だけ整備を進め、上下1車線ずつで供用し、その効果と影響を確認しつつ信頼性の高い整備が進められることを望む。
- 環境アセスの数値は基準値ぎりぎりでもクリアしており心配である。もっと余裕を持ってクリアできるようにしてほしい。
- 大深度方式は、地上部に当る地域に影響が集中するため、影響を予測することが必要である。
- 圏央道の整備進捗も含めて交通体系を予測し、東名以南の計画見直しの検討も必要である。

進め方

■地域課題検討会の進め方

- 東名高速へのランプの線形が崖線や周辺環境への影響を軽減させるための最良の内容になっているのかどうか心配である。道路勾配やカーブなどの設計条件(道路構造令・技術基準)を教えてください。
- 外環完成後の交通量の予測値を教えてください。

進め方

■凡例

